



# CIGSエネルギー2050研究会 概要

キヤノングローバル戦略研究所  
段 烽軍

# エネルギー2050研究会 (CIGS)メンバー

- メンバー

湯原哲夫、段烽軍、横山隆寿、青柳由里子 CIGS

松井一秋、新藤紀一、都筑和康 エネルギー総合工学研究所

氏田博士 東京工業大学

大山 健 エナジス

藤井康正、小宮山涼一 東京大学

馬奈木俊介 東北大学

ローバート瓦谷

(外部協力メンバー)

筒井純一、上野貴弘 電力中央研究所

(アドバイザー)

松野太郎教授 海洋研究開発機構

# これまでの研究内容と結果

## -温室効果ガスの総排出量と排出曲線設定

Z650シナリオ作成及び気候影響評価

長期的な気候被害を避けながら短期的に多くのCO<sub>2</sub>を排出できる

## -エネルギー工学モデルによるエネルギー構成の予測

Z650を制約条件として、世界全体最適化

既存あるいは見通しのある技術に基づいて実現できるエネルギー構成  
地域間衡平性のある排出配分

## -エネルギーシステムの経済性分析

追加投資と省エネメリットの試算

世界及び地域毎に、追加投資を省エネメリットでカバーできる

## -国際協カスキームの構築

低炭素エネルギー技術普及を中心とした国際協カスキームの考案

# 2012年研究課題

- Z650シナリオに関する気象科学の再検討  
長期影響、不確実性等
- 工学モデルによるエネルギービジョンの検討  
エネルギー社会像  
技術の感度解析
- 経済モデルによるZ650シナリオの評価  
緩和策と被害を統合した経済評価
- 国際協カスキームの構築  
低炭素エネルギー技術普及を中心とした国際協カスキームの考案
- ビジョン共有の可能性  
日本の解析、中国の解析、米国との交流